

# 「ICT成長力懇談会」 取りまとめ 骨子案

平成20年5月

総務省 情報通信政策局

# 取りまとめ 目次案

## 1 ICTと成長力（懇談会設置の背景と検討課題）

## 2 現状評価

2-1 日本の成長力の現状

2-2 日本のICT分野の現状

## 3 情報社会の将来像：“xICT”～あらゆる産業・地域とICTとの融合～

3-1 目指すべき「情報社会」の姿

3-2 産業が変わる

3-3 地域が変わる

3-4 生活が変わる

## 4 ICT成長力強化プラン

### 参考 u-Japan政策(改訂版)【※各施策をアップデート】

① ユビキタスネットワーク整備

② ICT利活用の高度化

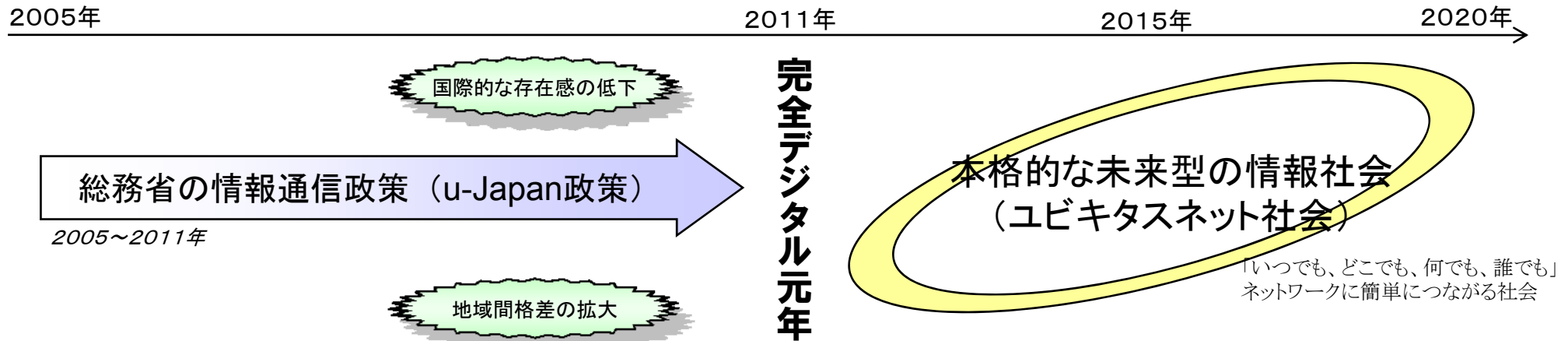
③ 利用環境整備

④ 国際戦略

⑤ 技術戦略

# 懇談会設置の背景と検討課題

- 2011年の完全デジタル元年に向けて、総務省の情報通信政策（u-Japan政策）を展開中。
- 2011年以降の社会像を明らかにし、「成長力強化」への道筋を大仕掛けで策定すべき時期。



## 検討課題①： 現状評価

- ・わが国の情報通信社会の現状把握
- ・u-Japan政策の評価

## 検討課題②： 社会の将来像

- ・完全デジタル元年以降に追求すべき社会像
- ・産業、技術、サービス、ビジネスモデル等の方向性

「成長力強化」への道筋をオールジャパンで策定

## 検討課題③： 新たなICT政策の検討

- ・ICT分野の新成長戦略の策定
- ・重点推進分野、府省連携施策等の設定
- ・成長力強化（経済成長や地域活性化）に直結する政策メニューの提示

# 現状評価

## 日本の成長力の現状

### 日本の国力が地盤沈下

- |                            | 90年代前半     | 直近          |
|----------------------------|------------|-------------|
| 一人あたりGDP                   | 世界2位 (93年) | 世界20位 (06年) |
| 競争力ランキング<br>(スイスのIMD作成の指標) | 世界1位 (92年) | 世界24位 (07年) |

### 地域間格差が徐々に拡大

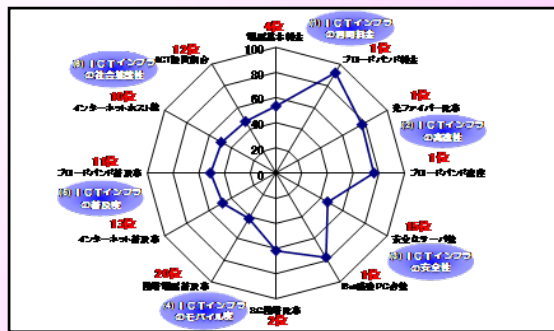
- |                        | 00年前後       | 直近         |
|------------------------|-------------|------------|
| 三大都市圏の転入超              | 0.2万人 (96年) | 15万人 (07年) |
| 県民所得の変動係数 <sup>※</sup> | 13.9 (01年)  | 16.4 (05年) |
- (※ ばらつきや格差を示す指数)

## 日本のICT分野の現状

- ICTランキング (世界経済フォーラム作成の指数) 世界20位 (00年) → 世界20位 (02年) → 世界8位 (04年) → 世界14位 (06年) → 世界19位 (07年)

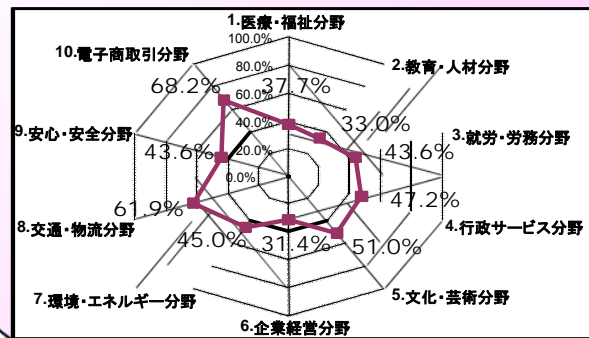
### 基盤は世界最高水準

- ・ ブロードバンド利用可能は96%
- ・ インフラの総合評価は世界一
- ・ 普及率、社会資本整備における優先度などに課題



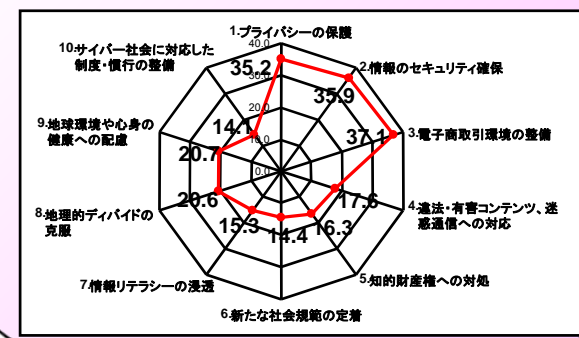
### 利活用はテコ入れが必要

- ・ ICTシステムの利用率は46%
- ・ 企業経営、教育・人材、医療・福祉、就労・労務、安心・安全、環境・エネルギー、行政サービスが特に低調



### 安心・安全に大きな課題

- ・ ICT利用への安心感は23%
- ・ サイバー社会に対応した制度、慣行、社会規範等の面で不安感が大
- ・ リテラシーが増すと不安が減る傾向



# 情報社会の将来像

2011年

2015年

<“e”（電子化）から“u”（ユビキタス）へ進むことで…>

**世の中の「原則」が変わる**  
(不連続的な環境変化)

## 1 ネットワークの常識が変わる

「いつでもつながる」から「いつもつながっている」へ

「人のネットワーク」から「人・モノ全てのネットワーク」へ

「自ら所有するシステム」から「皆で共有するシステム」へ

「見る・聞くコミュニケーション」から「感じるコミュニケーション」へ

⋮

## 2 社会の共通ルールが変わる

「紙が基本」から「電子が基本」へ

「自分でつくる」から「皆で協働する」へ

「職場が基本」から「ワークライフバランス」へ

「生産者が主役」から「消費者が主役」へ

⋮

<目指すべき「未来社会」の姿>

**経済成長と環境を両立させる  
持続可能な成長モデル**

グローバルに成長し、  
個も組織も活力を  
発揮する社会

global  
& growth

調和

地球にも人にも  
優しく、安心して  
生活できる社会

sustainable  
& secure

**成長力**

**産業  
が変わる**

**地域  
が変わる**

**生活  
が変わる**

あらゆる人や物がネットワークでつながり、  
価値を創発する社会(ユビキタスネット社会)

ubiquitous, universal, user-oriented & unique

<目指すべき「情報社会」の姿>

**成長力に寄与するICT社会**

従来の将来像

(生活面の利用イメージのみ)

今回「見える化」する将来像  
(産業+地域+生活のトータル社会像)

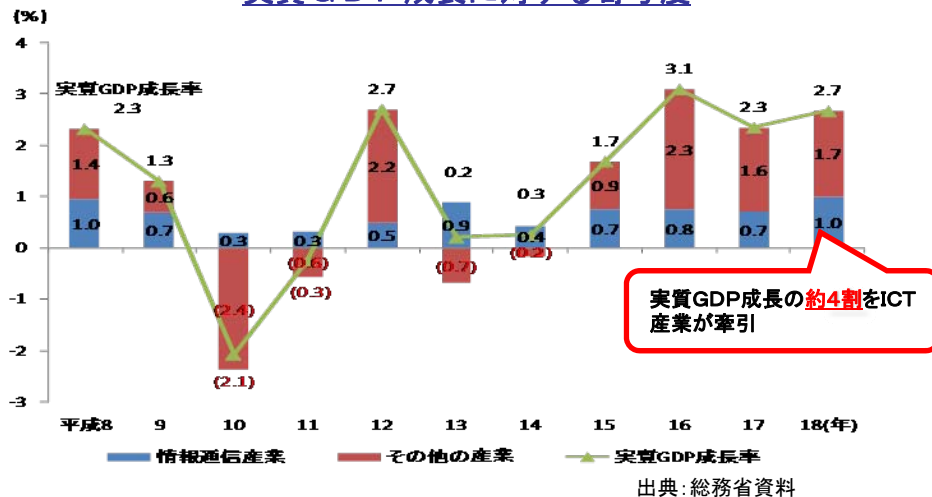
完全デジタル元年

# 【参考】ICTによる経済成長の牽引と環境負荷の低減

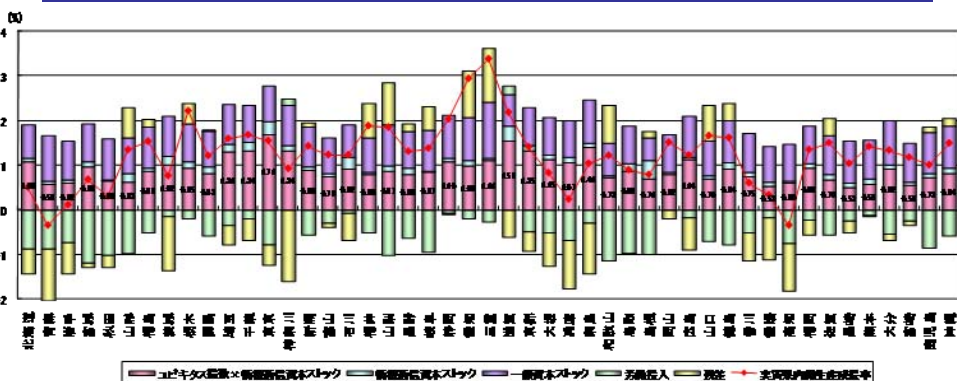
## ICTによる経済成長の牽引

- ICT産業は日本の実質GDP成長の4割を牽引。
- 全ての都道府県で寄与度はプラス。寄与度5割超が35に達する。

実質GDP成長に対する寄与度



実質GDP成長率に対する情報通信資本のユビキタス化の寄与度



## ICTによる環境負荷の低減

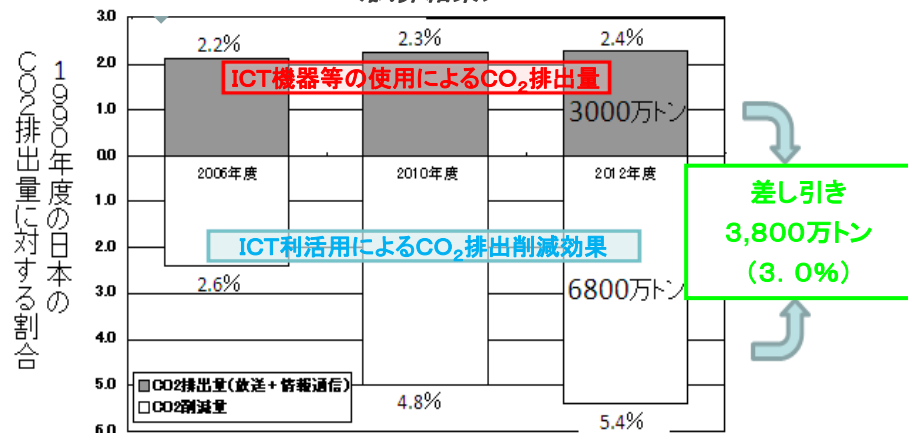
- ICT利活用による排出減がICT機器等の使用による排出増を上回る
- ICTによるCO<sub>2</sub>排出削減量は、トータルで、1990年度の日本のCO<sub>2</sub>排出量の3%と試算

環境負荷低減効果の試算



ICT利活用によるCO<sub>2</sub>排出量削減がICT機器等のCO<sub>2</sub>排出量を大きく上回り、2012年において**3,800万トン**のCO<sub>2</sub>排出削減に貢献(1990年度の日本のCO<sub>2</sub>排出量の**3.0%**)

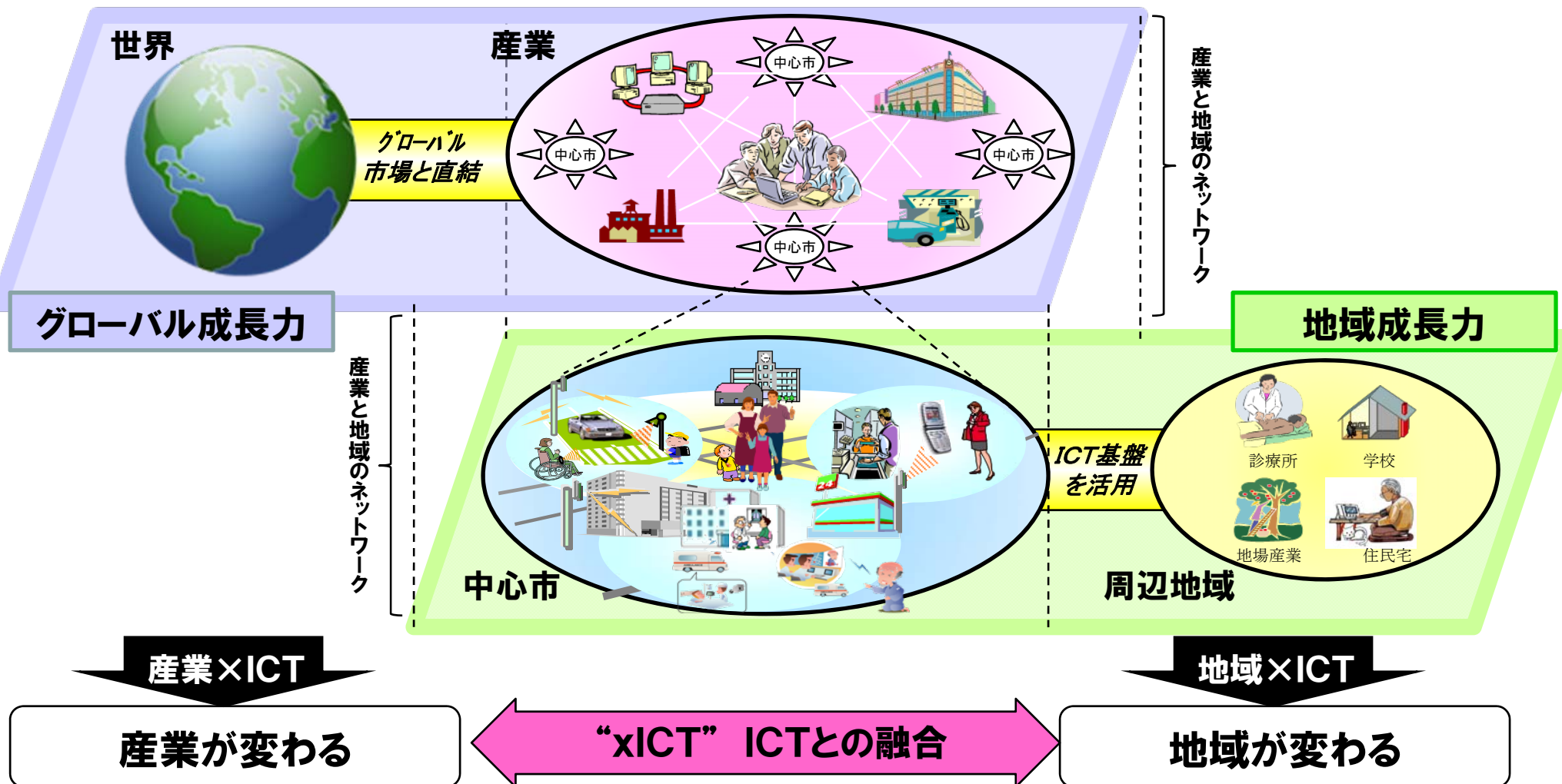
<試算結果>





# ICTによる成長力強化

- 成長力強化のためには、「グローバル成長力」と「地域成長力」の双方が必要。
- 産業と地域のネットワークが双方の成長力のエンジンとして機能。
- 国際展開する産業とICTがより効果的に融合することで「グローバル成長力」を高めることが可能。
- 周辺地域を含む地域がICTとより効果的に融合することで「地域成長力」を高めることが可能。



# 産業が変わるイメージ： 産業×ICT

- グローバル成長力の担い手は「産業」。ICTによって「産業が変わる」姿を具体化することが必要。
- ICTのつながり力によって「産業」が変わる姿は、次の2種類。
  - ① 「新たな事業領域を生み出す」ことにより、新しい業態・事業・産業が誕生する姿
  - ② 「効率性を高める」ことにより、バリューチェーンが変革して新たな企業モデルを構築する姿
- ICTを使いこなす技術の普及を図り、新型ビジネスの創出を競う「新融合市場」へ進化。

ICT利活用による産業変革  
(新融合市場)

## 新たな事業領域を生み出す

製品・サービスがICT利活用で変革され、  
新たな事業・産業・業態として誕生

×

## 効率性を高める

企業の既存のバリューチェーンがICT利  
活用で変革し、新たな企業モデルを構築

### 既存業態の進化(=NEXT◇◇産業)

既存業態が今までになかった業態に進化し、新たな事業領域を創出  
(例:新聞社による電子ペーパーへの記事配信)

### 異業種間の連携(=○○産業×△△産業)

ICTが触媒となって、またはICTを活用することで、異業種同士が連携し、  
新たな事業領域を創出 (例:非接触ICカード (=小売×鉄道×..))

### 新規産業の創出(=NEW□□産業)

ICTのイノベーションにより、従来にはない全く新しい事業領域を新たな  
担い手が創出 (例:仮想空間ビジネスを行う企業の登場)

### 企業内の効率性の向上

ICTを経営に活用することにより、企業内の業務の効率性を向上  
(例:電子タグ導入による生産・流通過程の効率化)

### 国内の企業との間の効率性向上

業界横断的なICT基盤を整備すること等により、国内企業間の業務の  
効率性を向上 (例:統一的な空間コードによる企業間物流の効率化)

### 海外の企業との間の効率性向上

ICTを活用することにより、海外の子会社・企業等との間の業務の効率性  
を向上 (例:国内の病院と国外の医療検査会社によるオフショア連携)



# 【参考】産業変革の具体事例

新たな事業領域を生み出す

## 既存業態の進化(=NEXT◇◇産業)

既存業態が今までになかった業態に進化し、新たな事業領域を創出

## 異業種間の連携(=○○産業×△△産業)

ICTが触媒となって、またはICTを活用することで、異業種同士が連携し、新たな事業領域を創出

## 新規産業の創出(=NEW□□産業)

ICTのイノベーションにより、従来にはない全く新しい事業領域を新たな担い手が創出

効率性を高める

## 企業内の効率性の向上

ICTを活用することによって、企業内の業務の効率性を向上

## 国内の企業との間の効率性向上

ICTを活用することによって、国内企業との間の業務の効率性を向上

## 海外の企業との間の効率性向上

ICTを活用することによって、海外企業との間の業務の効率性を向上

e(電子化)の世界



u(ユビキタス)の世界

<萌芽事例、アイデア等>

新聞や番組を紙・テレビ・ネット等を通じて視聴

持ち運べる電子ペーパーに新聞や番組を配信

カーナビで地図や音声により走行支援

車内情報端末に観光、イベント、食、ショッピング等を総合的に情報配信

電子マネーで小銭要らずの少額決済

ICカードの電子マネーでコンビニも鉄道も鍵も何でもOK

産業用ロボットやペットロボット

ネットを通じた遠隔管理でロボットが介護等のサービスを提供

オンラインゲームで遠隔地のユーザと対戦

3次元仮想空間内で、広告や不動産取引等の経済活動を展開

消費電力の少ないチップ、端末、サーバ等の開発

センサーネットワーク管理による環境負荷低減サービスを提供

POS端末でバーコード読取により販売員が決済

電子タグにより、生産・在庫管理、決済、顧客情報等を総合管理

化粧品に関する苦情や意見をネットで受付

化粧品の開発にリアルタイムのロコミ情報を通じて消費者が参画

印刷表示された商品識別のバーコードで物流を効率管理

統一的な空間コードと電子タグ・センサーにより、物流を効率管理

社内LANでの研究者の協力による研究開発課題の解決

社外の研究者を活用し、研究開発をオープンバージョンで推進

電子カルテネットワークシステムにより診療記録を共有

病院から送付された検査画像を国外の医療検査会社でオフショア診断

設計データのWeb共有によるグローバルな社内技術開発

最適調達情報を含むデータ共有によるグローバルなプラットフォーム構築

# 【参考】ICT利活用とグローバル成長力に関するデータ

## 世界の成長分野は金融、ICT、資源

- ・最近の世界の成長分野は、金融、ICT、資源（原油、天然ガス等）
- ・一人当たりGDP上位20カ国中、日本のみ2年連続マイナス成長
- ・資源を有しない日本は、ICTを成長分野の一つと明確化すべき

一人当たりGDPの国際比較（上位20カ国）

順位	国名	一人当たりGDP(ドル)	04-05年伸び率(%)	05-06年伸び率(%)	産業の柱
1	ルクセンブルグ	92,049	8.6	12.5	金融
2	ノルウェー	71,999	15.9	10.8	資源
3	カタール	64,193	28.4	20.4	資源
4	アイスランド	54,503	21.7	-0.6	金融
5	スイス	52,014	2.1	3.7	金融
6	アイルランド	51,920	6.9	7.1	ICT
7	デンマーク	50,857	6.0	6.5	金融
8	米国	43,570	5.3	5.1	金融・ICT
9	スウェーデン	43,291	2.0	6.9	ICT
10	オランダ	40,924	3.4	5.6	金融・資源
11	フィンランド	39,790	3.0	6.8	ICT
12	英国	39,637	3.0	6.4	金融
13	カナダ	38,948	12.8	11.3	金融・資源
14	オーストリア	38,851	3.6	5.6	資源
15	ベルギー	38,136	4.0	5.6	金融
16	オーストラリア	36,813	10.2	4.9	資源
17	クウェート	36,741	36.7	18.3	資源
18	フランス	36,654	3.0	4.6	製造業
19	ドイツ	35,251	1.6	4.4	製造業
20	日本	34,125	-1.3	-4.0	製造業

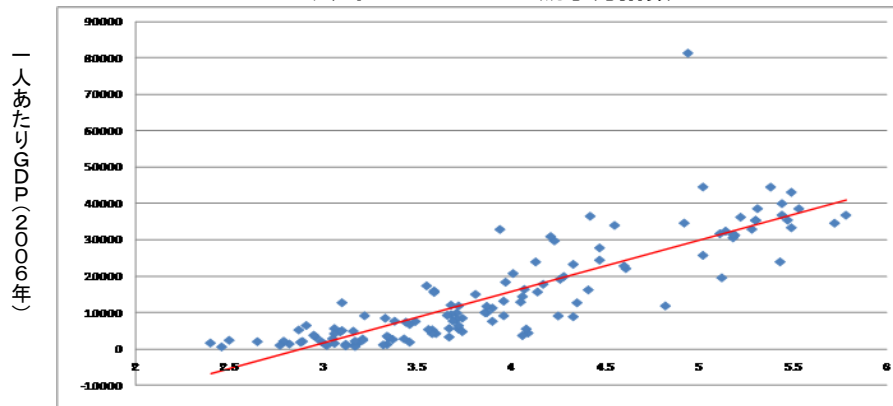
（出典）国際比較統計（国際貿易投資研究所）。

「産業の柱」は経済財政諮問会議 経産省提出資料（2008年1月17日）より。

## ICTの競争力は国の競争力に直結

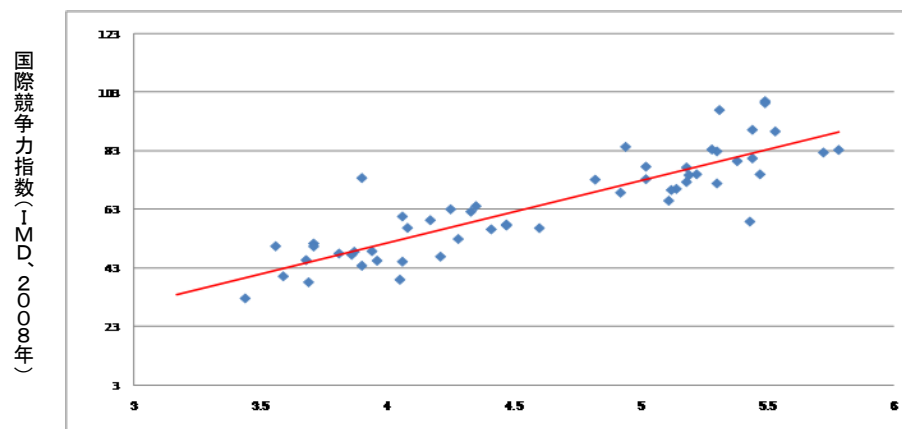
- ・一人あたりGDPや国際競争力指数とICT競争力指数との間には高い相関が存在
- ・日本が進むべき道は、産業の柱としてICTをさらに強化すること

一人当たりGDPとICT競争力指数



ICT競争力指数（世界経済フォーラム作成のネットワーク準備度指数、2007年）

国際競争力指数とICT競争力指数



（出典）総務省作成

ICT競争力指数（世界経済フォーラム作成のネットワーク準備度指数、2007年）

# 地域が変わるイメージ： 地域×ICT

- 地域成長力の担い手は「地域」。ICTによって、「地域が変わる」姿を具体化することが必要。
- ICTのつながり力によって「地域」が変わる姿は、次の2種類。
  - ① 知識・情報の共有と創造を重視し、「集積効果を高める」ことにより知的生産性を高める姿
  - ② 生活直結サービスの遠隔提供により「コミュニティを確保」し、地域をエンパワーする姿
- ICTのつながり力により、地縁、血縁、そして電子が人や企業をつなぐ「電縁」の地域社会へ進化。

ICT活用による地域変革  
(電縁社会)

## 集積効果を高める

知的生産活動における人の交流を補完し、知識・情報のスピルオーバーを強めることで収穫逡増をもたらす

※ICTの補完的利用

×

## コミュニティを確保する

行政、医療、教育等の生活に不可欠なサービスや雇用の遠隔提供を可能とし、地域のコミュニティをエンパワーする

※ICTの代替的利用

### 地域産業・サービスの情報武装

地場産業が、ICTを活用することで情報武装化を進め、飛躍的な成長を実現（例：生育ノウハウの可視化による効率的な農業経営の実現）

### 中小企業の協働・連携

ICTが触媒となって、地域の中小企業が結束し、情報共有や共同受発注により競争力を獲得（例：工業会のポータルサイト構築による商圏拡大）

### 紐帯の深化による地域活性化

ICTを活用することで、信頼や規範といったソーシャルキャピタルを補完し、地域社会の生産性を向上（例：地域SNSによる商店街活性化）

### 行政サービスのユビキタス化

国・地方公共団体による行政手続等のサービスを、ICTを活用することで、いつでもどこでも利用可能に（例：24時間オンライン申請）

### 生活直結サービスのユビキタス化

医療、福祉、教育、食事等の生活直結サービスを、ICTを活用することで、いつでもどこでも利用可能に（例：遠隔医療、遠隔教育）

### 雇用のユビキタス化

ICTを活用することで、いつでもどこでも雇用を提供することが可能に（例：テレワーク、SOHO）

# 【参考】地域変革の具体事例

集積効果を高める

コミュニティを確保する

## 地域産業・サービスの情報武装

地場産業が、ICTを活用することで情報武装化を進め、飛躍的な成長を実現

## 中小企業の協働・連携

ICTが触媒となって、地域の中小企業が結束し、情報共有や共同受発注により競争力を獲得

## 紐帯の深化による地域活性化

ICTを活用することで、信頼や規範といったソーシャルキャピタルを補完し、地域社会の生産性を向上

## 行政サービスのユビキタス化

国・地方公共団体による行政手続等のサービスを、ICTを活用することで、いつでもどこでも利用可能に

## 生活直結サービスのユビキタス化

医療、福祉、教育、食事等の生活直結サービスを、ICTを活用することで、いつでもどこでも利用可能に

## 雇用のユビキタス化

ICTを活用することで、いつでもどこでも雇用を提供することが可能に

## e(電子化)の世界 $\times$ ICT $\rightarrow$ u(ユビキタス)の世界

<萌芽事例、アイデア等>

ホームページ上で  
農産物を全国へ通信販売

生育ノウハウを可視化・最適化し、  
遠隔操作で農業経営を効率化

観光客と観光ガイドの  
ボランティアをネットでマッチング

電子タダ搭載の地域通貨を使い、  
多言語音声観光ガイドを提供

地域情報のポータルサイトにより、  
各企業のホームページを検索可能

工業会のポータルサイトを構築し、  
技術取引や共同受発注を実施

中小企業が自前でシステム構築し、  
カスタマイズされたソフトを使用

中小企業がASP・SaaSを導入し、  
システムやソフトの共有で生産性向上

ホームページで商店街の地図  
や各店の情報を掲載

地域SNSを構築し、商店街の交  
流イベント等と連動させて活性化

自治体が警察等と協力し、防犯  
情報を携帯電話に配信

警察・消防等公的機関と住民が連  
携しネットで安心・安全マップを共有

オンラインで自宅からネットで  
電子申請や納付が一部可能

原則オンラインで添付書類等が  
不要の完全ペーパーレス申請

行政手続ごとにオンライン申請

各種行政手続を一括して  
ワンストップでオンライン申請

簡易なTV電話等による通院  
患者への部分的な遠隔相談

自宅に居ながら本格的な  
遠隔診療、健康管理等を受診

ネットを活用した遠隔講義や  
教材の部分的な提供

講義や指導を全てネットで行い、  
通学しなくても単位が取得可能

小画面で電話やメールを頼りに  
単純作業中心のテレワーク

大画面TV電話で自由にデータ  
共有し、複雑な業務もテレワーク

ブロードバンド環境が整う地域  
の住民の一部がテレワーク

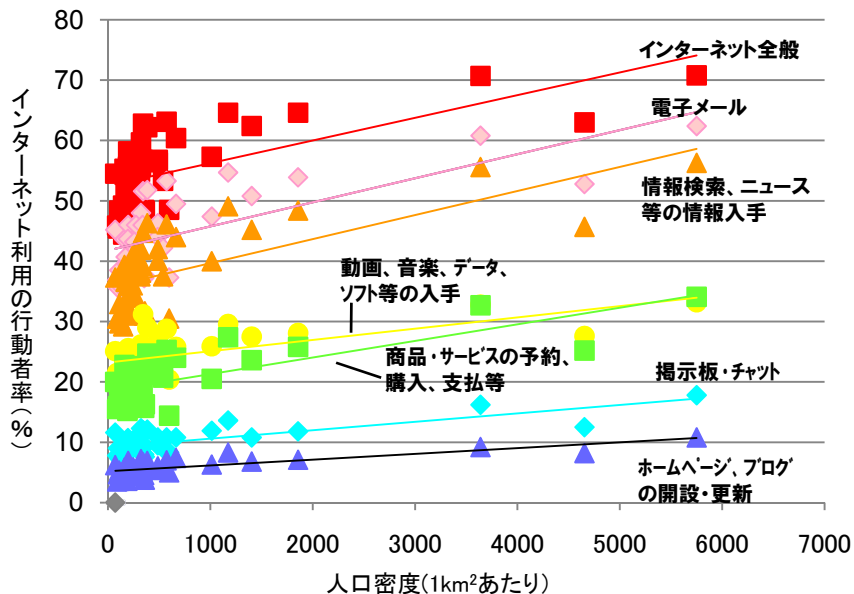
日本全国いつでもどこでも  
ネットや携帯でテレワーク

# 【参考】ICT利活用と地域成長力に関するデータ

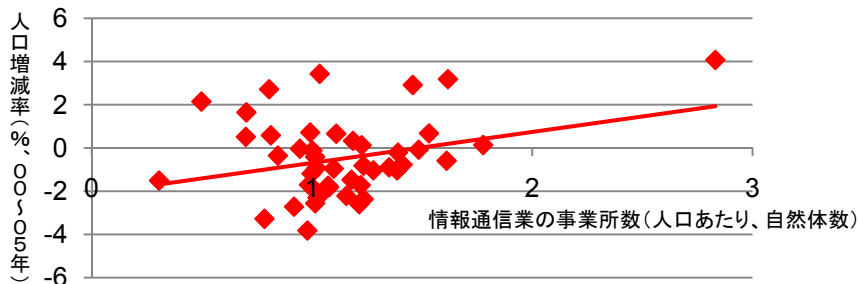
## ICT利活用が「集積効果を高める」

- ・人口密度が高い地域では、ICTの利用率(人口あたり)が高い傾向にある。
- ・ICT産業の集積が高い地域では、人口増加率が高い傾向にある。

インターネット利用と人口密度(都道府県データ、06年)



ICT関連事業所数と人口増減(都道府県データ)

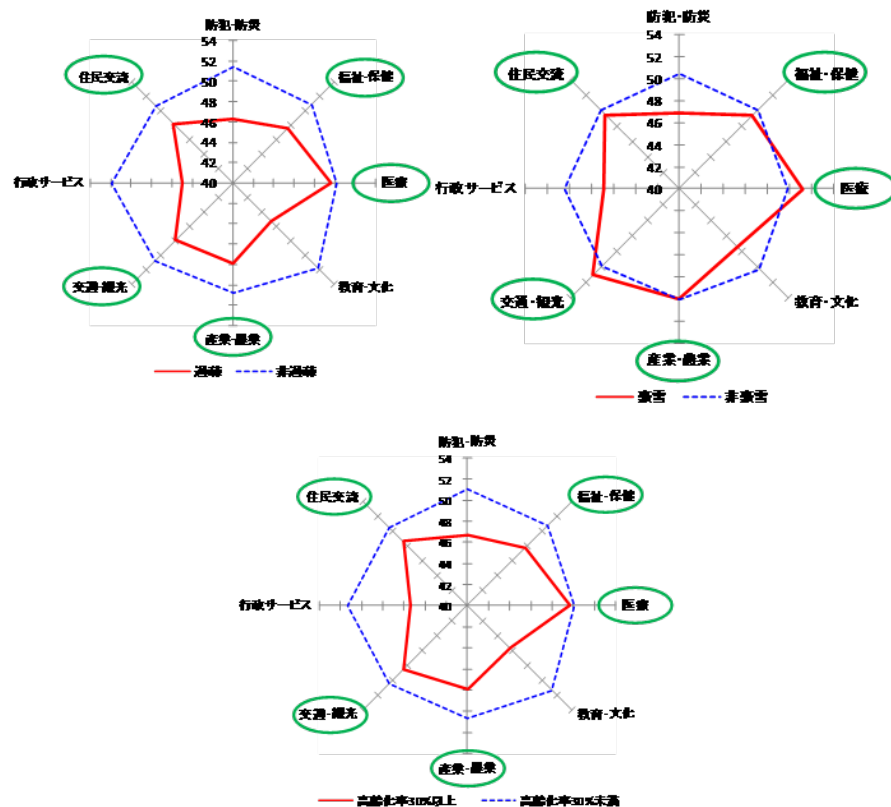


(出典) 社会生活基本調査、国勢調査、事業所・企業統計調査から総務省作成

## ICT利活用が「コミュニティを確保する」

- ・条件不利地域(過疎、豪雪等)や高齢化地域の市区町村では、福祉・保健、医療、産業・農業、交通・観光、住民交流といった地域に密接な課題の解決にICT利活用の比重が置かれている。

自治体の属性別にみたICT分野別活用指標



(出典) 総務省調査



# 生活(人)が変わるイメージ: 生活(人)×ICT

- 産業や地域の変革の担い手は「人」。ICTによって「人」がエンパワーされ、「生活が変わる」姿は、具体的な利用シーンを過去に整理済み。
- ICTのつながり力によって「生活」が変わる姿は、次の2種類。
  - ① ICTを「いつでもどこでも便利に」利用できることで、快適で活力ある明るい生活が実現
  - ② ICTを「誰でも簡単に安心して」利用できることで、安全で優しい豊かな生活が実現

## ICT → u(ユビキタス)の世界 ＜萌芽事例、アイデア等＞

### いつでもどこでも便利に

日常生活の隅々にICTが浸透し、いつでもどこでもシームレスに便利なサービスを利用し、つながることができる

#### いつでも協働して価値を創発

離れた場所でもいつでもネットワーク上で協働することで、集合知を生み出し、新たな価値を創造 (例: マルチ立体画面によるコラボレーション)

#### 便利なサービスで快適な生活

働く親など、仕事や家事に忙しい日々でも、ICTを活用した便利なサービスで、快適な生活を実現 (例: 携帯電話による自宅内の遠隔操作)

### 誰でも簡単に安心して

機器やネットワークを意識することなく、子どもや高齢者、障害者など誰でも簡単に安心・安全に利用できる

#### 人と人との優しいふれあい

高齢者と子どもや都市と地方など、心の触れあうコミュニケーションで、世代や地域を越えた一体感を醸成 (例: 大画面TVによる臨場感通信)

#### 誰でも元気に社会参加

ICTを活用することで、年齢や障害に関係なく、元気に労働や社会活動に参画可能 (例: 電子タグを活用した自律移動支援システム)



# 【参考】生活変革の具体事例（利用シーンの例）

## いつでも協働して価値を創発 （クリエイターの場合）

お互いの持ち味が一つになれば、  
プロ顔負けのクリエイターになれる。

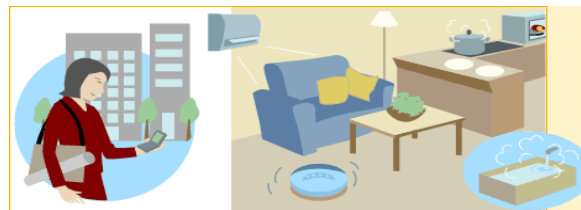
みんなでミュージカルをつくるぞ！

脚本担当  
振付け担当  
衣装担当  
音楽担当

離れた場所でもマルチ画面を使ってコラボレーション。

## 便利なサービスで快適な生活 （働く親の場合）

帰宅時間に合わせて、お風呂が沸き、  
食事が準備され、掃除が完了。働くママをサポートします。



帰りに頼まれた買い物も、会計は出口で自動引き落とし。  
レジに並ばず、すばやくできます。



## 人と人の優しいふれあい （祖父母と孫の場合）

誕生日のプレゼント  
なにがいいかな？



場所を選ばず、  
端末を換えてもつながったまま。  
シームレスなやりとりで、  
プレゼントをゲット。

ちょっとまって、  
大きい画面に切り替えるね。

今ちょっと時間  
あいてるかい？

一緒に買い物  
してるみたい。  
どれにしようかな。

誕生日のプレゼント  
はどれが欲しい？

## 誰でも元気に社会参加 （障害者の場合）

目的地まで誘導してくれ、途中で障害物が  
あればセンサーが察知してくれるので、安全。



障害者の方の居場所を  
リアルタイムに確認できるので、安心。



いつでもどこでも便利に

誰でも簡単に安心して

# 「ICT成長力強化プラン」のポイント

○従来の「ICTインフラ整備・ICT産業の成長」を基本とした政策から、「電子社会構築による全産業・組織の成長を官民連携の大仕掛けで推進」する段階へ進化するため、「ICT成長力強化プラン」を策定。

グローバル成長力

## ICT国際競争力強化プログラムの着実な推進

- 「UNS研究開発プログラムII」「国際標準化戦略」に基づき重点研究開発課題の推進、国際標準化活動を抜本強化。
- 高度ICT人材育成に向け、先進的な取組を横展開するためのナショナルセンター機能の構築。

## クリエイティブ産業の強化

- サイバー上に実名参加によるクローズドのコミュニティを構築し、その中に限定したインセンティブ付与やサービス試験等が可能な仕組みとして「サイバー特区」を検討。
- 日本中の知的資産を総デジタル化する「デジタル文明開化プロジェクト」を実施し、情報自給率の改善を図る。

## 地域再生・産業創造に向けたユビキタス特区の拡大

- 利用可能な周波数を公表し、地域からの公募を今夏に開始。

ICT国際競争力の強化  
(ガラパゴス体質からの脱却)

ICTのつながり力による産業変革  
(ICT活用の戦略分野の設定)

“xICT”

あらゆる産業・地域とICTとの融合

IT戦略本部・  
関係府省と連携

官民で連携

ICT利用産業

ICT産業

新たなデジタル市場の創出  
(ICT産業の発展基盤強化)

デジタル適応力の向上  
(ICTの徹底活用)

地域成長力

## 完全デジタル元年に向けたICT基盤整備の推進

- 地上デジタル放送への完全移行に向けた総合対策の推進。(送信側・受信側双方に網羅的対策)
- デジタル・ディバイド解消戦略の策定。(地域ごとの課題抽出、携帯電話の整備計画策定)

## 官民をあげたデジタル適応力の向上

- 電子政府・自治体について政策・制度見直しと実証実験を一体的に推進し、普及を本格化。(自治体・民間連携ワンストップサービス 等)
- さらに、医療・福祉・介護、教育、テレワーク、企業経営など各分野におけるICT活用促進に向け、官民で検討する場を設置し、政策・制度を総点検。
  - ・遠隔医療については懇談会から具体的提言。
  - ・ASP・SaaS等ICT生産性向上に向け戦略的取組を開始。

# 【参考】「ICT成長力強化プラン」の全体像

グローバル成長力

## ICT産業の国際競争力強化

### (1) 重点技術分野での国際展開の積極推進

- ① 次世代IPネットワーク、ワイヤレス、デジタル放送の3分野での日本発技術やICT産業の国際展開の推進
- ② モバイルビジネス活性化プランの推進
- ③ 新世代ネットワーク等の重点研究開発課題の推進

### (2) 国際標準化活動の抜本強化

- ① 「ICT国際標準化戦略マップ」「ICT特許マップ」等の策定
- ② 「ICT標準化・知財センター」の設置

### (3) 高度ICT人材育成の推進体制の強化

- ① 先進的な取組を横展開するためのナショナルセンター機能の構築

## ICTのつながり力による産業変革

### (1) 新事業領域の創出

- ① クリエイティブ産業(コンテンツ周辺分野)の抜本強化
- ② 世界最高の情報通信基盤を活かすプラットフォーム基盤の強化

### (2) 環境力の戦略展開

- ① 評価手法の確立・標準化、研究開発等、ICTによるネットワーク化を通じた環境負荷低減とこれを核とした国際展開

### (3) 日本の「強み」とICTとの融合促進

- ① 日本が「強み」を有する産業分野(自動車、住宅、ロボット等)について、ICTとの融合市場の創出促進

### (4) オールジャパンで取り組む大型プロジェクト

- ① 日本中の知的資産を総デジタル化する「デジタル文明開化プロジェクト(仮称)」の実施
- ② ユビキタスネット社会を国際展開する総合的なプロジェクトの実施

### (5) 民の取組を後押しするための「特区」の導入

- ① コンテンツ流通等における新規事業創出を促す「サイバー特区(仮称)」の導入
- ② 日本の強みであるユビキタス技術をさらに伸ばす「ユビキタス特区」の拡充

## ICT成長力強化プラン

ICT産業 ←

→ ICT利用産業

### (1) 完全デジタル元年の着実な実現

- ① 地上デジタル放送への完全移行に向けた総合対策の推進
- ② デジタル・ディバイド解消に向けた取組の推進
- ③ 地域WiMAXの推進

### (2) 新たな情報通信サービスの創出

- ① 地上デジタル放送への完全移行により利用可能となる周波数を活用した新サービスの実現
- ② 通信・放送の融合・連携の一層の促進によるIPTV等の新サービスの展開
- ③ 新競争促進プログラム2010に基づくブロードバンド市場の競争促進策の展開

### (3) 総合的な違法・有害情報対策の推進

- ① 違法・有害情報対策相談窓口の強化、コンテンツのレーティング普及促進等

### (1) 官民をあげたICT利活用のための課題総点検

- ① ICT利活用に関する制度・慣習等の総点検

### (2) 徹底的なICT利活用を促すための重点分野の設定

#### (2-1) 国における行政サービスの革新

- ① 抜本的改善策に沿った利用促進計画の実施を通じたオンライン利用の飛躍的拡大

#### (2-2) 地方における行政サービスの革新

- ① 地方公共団体の業務効率化(地域情報プラットフォーム、ASP・SaaSの利用 等)
- ② 住民の利便性向上(住民基本台帳カードの無料交付の促進 等)

#### (2-3) 地域産業・サービスの革新

- ① 「ICTによる生産性向上戦略」の推進
- ② 地域成長力を高めるための重点分野の設定(遠隔医療、中小企業等) など

## 新たなデジタル市場の創出

## 官民をあげたデジタル適応力の向上

地域成長力